

このたびは、ハウステックバスルームをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前に本紙をよくお読みの上正しくお使いください。
- 本紙は、安全上、使用上の注意内容、点検とメンテナンスについて記載しております。
- 換気扇、換気暖房機器、水栓やその他器具の専用の取扱説明書もよくお読みください。
- 本紙は、保証書とともに大切に保管し、必要なときにお読みください。

より詳しい取扱説明書をご覧くださいには



webサイトから
製品の使い方、お手入れの仕方、不具合と思ったらQ & Aなどの
情報をご確認いただけます。

<https://www.housetec.co.jp/support/toriatsukai/#4>

必ずお守りください

- ◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◎お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- ◎表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」を示しています。



注意

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」を示しています。

◎お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意 味
	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

安全上のご注意

浴室全体

⚠ 警告

- ⊘ 故障、破損したら使用しない
事故や故障の原因になることがあります。
- ⊘ 分解、修理、改造をしない
感電や故障の原因になることがあります。
- ⊘ 幼児や身体の不自由な方だけで入浴させない
おぼれたり、けが・やけどをするおそれがあります。
- ⊘ 浴室内で幼児だけで遊ばせない
おぼれたり、けが・やけどをするおそれがあります。
- ❗ 組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る
使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

⚠ 注意

- ⊘ 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない
金属やゴムが腐食・劣化して、水漏れの原因になります。
- ⊘ 上水道の水質基準に適合しない井戸水は使用しない
浴槽および関連機器を傷める原因になります。
- ⊘ 床、壁、浴槽、天井などの継目部分にある目地やコーキング、ドアパッキンを傷つけたり、切ったり、取り外したりしない
また切れたり、浮いたまま使用しない
水漏れのおそれがありますので、すぐに修理をご依頼ください。
- ⊘ 浴槽上縁面、カウンター、握りバーに乗ったり、ぶら下がったりしない
破損や転倒によるけがのおそれがあります。
- ❗ 器具の位置を変えたり、新しく取り付けるときは必ず
お買い上げの販売店などに相談する
誤った取り付けをすると、思わぬ事故や水漏れの原因になることがあります。
- ❗ 浴室内は石けんや入浴剤ですべりやすくなるので、
気をつける
転倒してけがをするおそれがあります。

浴 槽

⚠ 警告

- ❗ 追いだし機器を使用する場合は水を循環口より
10cm 以上入れる
空だきとなり、火災の原因になるおそれがあります。
- ❗ 排水栓は確実に閉める
空だきとなり、火災の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

- ⊘ 浴槽から勢い良くお湯をあふれさせない
浴室外に水があふれたり、洗い場のフタ(排水フタ)が外れて
転倒するおそれがあります。
- ⊘ 浴槽に飛び降りる等、無理な力をかけない
ヒビが入って、水が漏れたり、けがをするおそれがあります。
- ⊘ 排水栓をつないでいるくさりの浴槽取り付け部を
無理にまわさない
取り付け部がゆるむと水漏れのおそれがあります。
- ⊘ 追いだし運転中は、浴槽の循環金具に近づかない
自動運転中は、循環金具から自動的に熱いお湯が出てやけど
をするおそれがあります。
- ⊘ 排水栓の上に乗らない
つまづいてけがをしたり、故障の原因になります。また、排水
栓が浮いてお湯が抜ける場合があります。
- ❗ 浴槽は定期的に清掃する
底面についているミクロストップは、汚れがたまるとすべり
やすくなり、けがをするおそれがあります。

照 明

⚠ 警告

- ⊘ 照明器具にタオルなどを掛けない
過熱して、火災の原因になるおそれがあります。
- ⊘ 照明器具のカバー(グローブ)を外したり、破損したまま
使わない
感電したり、電球が割れてけがをするおそれがあります。
- ⊘ 照明器具や換気器具に直接湯水をかけない
感電や故障の原因になることがあります。
- ❗ 照明器具や換気扇の手入れは電源(スイッチ)を切っ
てから行う
感電やけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- ⊘ 点灯中及び消灯後しばらくは高温になっているので、
照明には手を触れない
やけどの原因となります。
- ⊘ 照明器具のお手入れには、安定した踏み台を使用する
転倒などによる転倒のおそれがあります。踏み台の下には敷
物をするなどして、床をキズ付けないようにしてください。
- ⊘ 照明器具のお掃除に洗剤は使用しない
変質、変色、変形のおそれがあります。
- ⊘ 点灯中の光源を直視しない
目を傷めるおそれがあります。
- ❗ 電球は必ず器具に表示してある種類、ワット(W) 数の
適合ランプを使用する
異なる種類、ワット(W)数のランプを使用しますと、過熱によ
りやけどや器具が変形、変色したり火災の原因となります。ま
た、器具が変形すると防湿性能が失われ、漏電の原因となり
ます。
- ❗ カバー(グローブ)は、定期的に清掃する
グローブに埃などがたまると、グローブに熱がこもり、グロ
ーブの変質、変色、割れのおそれがあります。
- ❗ 照明器具には寿命があります
- ❗ 点検・交換は、お買い上げの販売店などに依頼してください
設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化
が進行しています。点検・交換せずに長時間使い続けると、
まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

洗面とトイレ

⚠ 警告

- ⊘ 浴槽排水と洗面排水を同時に行わない
排水が洗い場にあふれ出ることがあります。
- ⊘ 陶器(洗面器・便器)に硬いものや先のとがったものをぶつけない
破損してけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- ⊘ トイレ用洗剤は、便器(陶器部分)以外は使わない
他の部分に使用すると、変色、劣化など不具合を生じるお
それがあります。
- ⊘ 洗面器に手をついて無理な力をかけない
洗面器ががたついたり、ずれたり、破損してけがをするおそれ
があります。

点検口

⚠ 警告

- ⊘ 点検口フタにのらない
破損してけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- ⊘ バスルームの点検口のフタは、設備点検時以外絶対にあけない
フタが外れ、けがをしたり水が漏れるおそれがあります。

器 具

⚠ 警告

- ⊘ 鏡に無理な力や衝撃を与えない
破損してけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- ⊘ タオル掛け、棚、カーテン、カーテンバー、握りバー、ランドリーパイプなどにぶらさがったり、強く引っ張ったりしない
破損したり、転倒などでけがをするおそれがあります。
- ⊘ 風呂フタ収納フック部が、外れたり、破損した状態で使用しない
破損してけがをするおそれがあります。
- ⊘ シャワーフックにつかまり、立ち上がったりしない
無理な力が加わり、上下に動き転倒などでけがをするおそれがあります。
- ⚠ 風呂フタ収納フック折りたたみタイプはフック部をつまんで上げ下げする
フック部以外をつまんで上げ下げすると、指をはさむおそれがあります。

フロフタ

⚠ 警告

- ⊘ 風呂フタに乗ったり、体重をかけたりしない
おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- ⚠ 風呂フタは必ず浴槽にあったものを使用する
風呂フタが外れたりして、けがややけどをするおそれがあります。
- ⚠ 風呂フタは必ず当社専用品を使用する
一般市販品には、一部可塑剤が入っているものがあり、浴槽表面を傷めるおそれがあります。風呂フタをご購入の際は、お求めの販売店またはサービス代理店までご連絡ください。
- ⚠ 風呂フタは両手でしっかり持ち、取り扱いには注意する
風呂フタを落とすと、足などを傷めるおそれがあります。また、変形や割れなど、風呂フタが破損する原因になります。

水 栓

⚠ 注意

- ⊘ お湯を出したあとは金属部分が熱くなるので手で触らない
やけどをするおそれがあります。
- ⊘ マッサージ吐水の顔への使用はしない
直接、目や耳などにシャワーが当たるとけがをするおそれがあります。
- ⊘ メタル調のシャワーヘッドは、ぶついたり落としたりしない
表面のメッキが割れてけがをするおそれがあります。万一、メッキが割れた場合は、直ちに新しいシャワーヘッドに交換してください。
- ⚠ 凍結が予想される場合は水栓の水抜きを行う
水抜きを行わないと、凍結破損し水漏れのおそれがあります。

水栓金具に不具合を感じた場合

水栓金具は安全・快適にご使用いただくために定期的に部品の交換が必要です。不具合を感じた場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。

窓

⚠ 注意

- ⊘ 窓接続棒の上に植木ばち等の重いものを置かない
窓接続棒が変形・破損したり、目地部が切れ、水漏れの原因になります。
- ⊘ 窓接続棒につっぱり棒や突っ張りタイプのブラインドを設置しない
窓接続棒が変形・破損したり、目地部が切れ、水漏れの原因になります。
- ⊘ 窓枠に足を掛けたり、乗ったりしない
破損や水漏れ、転倒によるけがのおそれがあります。

壁

⚠ 注意

- ⊘ 壁パネルに無理な力を加えたり、硬いものをぶつけたり、こすったりしない
破損してけがをしたり、照明器具の破損や周囲のコーキングが切れ、水漏れの原因になります。

ド ア

⚠ 注意

- ⊘ ドアのパッキンが切れたり、外れたまま使わない
水漏れのおそれがあります。
- ⊘ ドアに勢い良く水をかけない
水漏れのおそれがあります。
- ⊘ ドアのハンドルや引手にぶら下がったり、無理な力をかけない
ドアが外れ、ケガをするおそれがあります。
- ⚠ 入浴中や貯湯、入浴直後は浴室ドアを閉める
浴室外に湿気や水が漏れ、家財等を傷めるおそれがあります。
- ⚠ 開閉時は手や足の挟み込み等にご注意する
けがをするおそれがあります。
- ⚠ ドアががたつく、うまく閉まらない、スムーズに開閉しないときに調整しても直らない場合は使用をやめる
破損やけがのおそれがありますので、修理をご依頼ください。そのままにしているとけがをしたり、元に戻せなくなります。
- ⊘ ドアを勢いよく開閉したり無理な力を加えたりしない
手や足を挟んでけがをしたり、浴室外に水やお湯が出るおそれがあります。
- ⊘ ドアにずっと寄りかからない
ドアの面材(樹脂の部分)が変形したり、割れてけがをするおそれがあります。

ご使用で不具合を感じた場合

こんなときはすぐに使用をやめて修理をご依頼ください。

- ドアがスムーズに開閉できない。
- ドアのレバーがガタつく。
- ハンドルのメッキがはがれた。
- ドアのパッキンがご使用中に切れたり、外れて元に戻せない。
- ドアのパッキンは定期的に交換が必要な消耗品です。



床・排水口

⚠ 注意

- ⊘ 排水口にシンナーなどの溶剤を流さない
60℃以上のお湯を流さない
排水部分が損傷して、水漏れの原因になることがあります。
- ⚠ バスルーム内は石けん液などですべりやすくなるので気をつける
転んでけがをするおそれがあります。

使用上のご注意

浴室を美しく保つために

- バスルーム内でタバコを吸ったり、その他の火気(コンロ、ストーブなど)を使用しない
火災、コゲなどの原因になります。
- 毛染液、染料を使ったあとは軽くふき取り、すぐに洗い流す
しみ込んで取れなくなるおそれがあります。
- シャンプーなどの洗浄剤、入浴剤は部材に残らないよう洗い流したり、ふき取る
浴室用中性洗剤であったとしても、長時間付着したままにしますと、浴槽表面やパッキン類を傷め、変色や割れ、水漏れの原因になります。
- 便器に新聞紙、紙おむつ、生理用ナプキンなど詰まりやすいものは流さない
- 便器に水に溶けにくいトイレトペーパーは使用しない
- 浴槽に直接熱湯(60℃以上)を入れない
浴槽表面を傷め、変色や割れ、水漏れの原因になります。
- 洗い場に一気に多量の水を流す場合は、浴槽の栓をしっかり閉じる
栓をしていないと、掃除などに使用した汚水を多量に流したときに逆流し、浴槽を汚す原因となります。

- 排水トラップのフランジ周囲を歯ブラシなどでこすらない
パッキンを傷めるおそれがあります。
- 排水トラップのフランジはまわさない
ゆるんでトラップが外れると水漏れの原因となります。
- 排水トラップの封水を切らさない
封水がなくなると、排水管内に発生しているガスが、メッキ・金属製品やゴム部品の腐食や変色の原因になります。
- 排水口のヘアキャッチャーを取り外した状態で使用しない
毛髪やごみなどの詰まりの原因となります。
- 壁面に吸盤付の石けん受けなどを取り付けない
吸盤が壁面を変色させることがあります。吸盤が直接壁面に触れないように注意してください。
- 排水フタを裏返しにして床の上に置かない
排水フタの表面を傷めるおそれがあります。
- クレンジングオイルなどの洗顔料や整髪料、バスオイルなどの入浴剤や洗剤を置く場合、液だれがないよう洗い流して置く

- またカウンターの表面に液体が付いたときは、洗い流して残らないようにする
液に含まれる成分がカウンター棚も傷めるおそれがあります。
- さびやすいものをカウンターの上に放置しない
もらいさびにより、さびがとれなくなるおそれがあります。
- ヘアピンやカミソリの刃などを置いたままにしない
もらいさびがつくおそれがあります。
- 強くこすらない
浴槽・壁・カウンター・エプロン・収納棚などの樹脂部品の表面を強くこすると、傷がつく場合があります。
また濃色や光沢のある部品は傷が目立ちやすくなります。
白いふきあとも残ることがあります。

快適に使っていただくために

- 給湯機器の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定
快適な吐水温度を確保するために50～60℃設定をおすすめします。詳しくは給湯機器や水栓の専用の取扱説明書をご覧ください。
- ハンドル操作はゆっくりと
切り替えハンドルを急激に動かすと配管を傷める原因になりますのでゆっくり操作してください。
- 切り替え操作はよく確かめて
水栓切り替えハンドルはシャワーと吐水口の位置をよく確かめて操作してください。

- 湯温の確認も忘れずに
水栓からお湯を出すときは洗面器などにお湯をためて手で軽く温度の確認をしてください。
- 熱いお湯には気をつける
熱いお湯を出したあとは水栓の中が熱いのでしばらく水を出してください。
- 操作部以外は触らずに
お湯を出すと水栓表面が熱くなるので操作部以外は触らないでください。
- 換気は3時間を目安にする
不十分な換気はかびの原因になります。

- 入浴中の換気は避ける
換気扇内で発生した結露水が落ちてきたり、ドアのガリから脱衣室の空気が流れ込み寒く感じることがあります。
- 入浴後は水をかける
最後に入浴した人が壁や床に冷水のシャワーをかけておくと、こもっていた蒸気が冷えて、換気効率が上がります。
- シャワーフック付き握りバーに引っ掛けたシャワーヘッドからの水垂れが気になる場合は、シャワーフックの前後角度を調整する

お手入れ用品・洗剤について

お手入れに必要な用具

- 乾いたやわらかい布またはスポンジ
- 毛先の柔らかいブラシ…床全体を洗う時に使います。



- 浴室用中性洗剤
皮脂や石けんかすの付きやすいところ(浴槽、床、壁など)のお掃除に使用します。



- 浴室用クリームクレンザー
(お風呂のルックみがき洗い: ライオン) 鏡にこびり付いてしまった汚れを落とすために使用します。

「お風呂のルックみがき洗い」以外は使わない。また、他の部材には使用しない。

お願い

- 洗剤を使用した後は、洗剤の成分が残らないよう確実に洗い流す
中性と表示されている洗剤でも、溶剤が成分として含まれているものがあり、その成分を付着したまま放置しておくと、浴槽や浴槽エプロン、棚や排水栓のパッキンなど各種樹脂製品を傷め、変色や割れの原因となります。

⚠ 注意

- ⊘ 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり近づけたりしない
金属やゴムが腐食・劣化して水漏れの原因になります。
- ⊘ かび取り剤(漂白剤)
塩素系のかび取り剤は、頻繁に使わず必要なときだけにしてください。また、必ず製品の注意事項を読み正しくご使用ください。特にパッキン、目地コーキング材などバスルームの樹脂部分に長時間付着させないようにしてください。なお、メッキ部分や金属部品、除菌剤すてヘア・キャッチャー・除菌排水口へは使用しないでください。さびてしまうことがあります。



使ってはいけない洗剤

次の洗剤・薬品は部品を傷めてしまうので使わない



- みがき粉などの粒子の粗い洗剤
- シンナー ●酸性・アルカリ性の洗剤
- ベンジン ●漂白剤 ●重曹
- 激泡タイプのアルカリ性洗剤
- クエン酸※
- 酸素系漂白剤 ●セスキ炭酸ソーダ
- 塩素系漂白剤 ●鉱物性潤滑剤

※除菌剤すてヘアキャッチャー、除菌排水口の部品は除きます。

使ってはいけないお掃除道具

- ナイロン・スチールたわし
- たわし
- 高機能スポンジ(メラミンフォーム製スポンジ)
- 研磨剤入りスポンジ



入浴剤について

- 入浴剤を使うときは、給湯器の取扱説明書、入浴剤の注意書を十分に確認する
- 入浴剤は、浴槽の底が見える程度の透明感があるものを選ぶ
- 入浴剤は、決められた濃度を守り、浴槽底に滞留しないようによくかき混ぜる
- 入浴後は、お湯を放置せず、すみやかに浴槽や浴室を洗い流す

使ってはいけない入浴剤

- 硫黄、塩分・塩化ナトリウム、酸性、アルカリ性のもの
腐食のおそれがあります。
- 乳白色・白濁剤、オイル系、お湯に溶けにくい固体成分を含むもの
給湯器や配管を傷めるおそれがあります。
- 天然温泉水
浴槽が変色するおそれがあります。

やってはいけないこと

- 発泡系(炭酸)の入浴剤を使いながら、追いだきの運転をする
機器の故障原因になるおそれがあります。

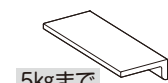
破損・けがを防ぐために

- おもちゃや硬いものでこすったり、ひきずったり、重くて硬いものを落さない
傷が付いたり、破損するおそれがあります。
- 風呂水洗浄剤を使わない
風呂水洗浄剤が入ったお湯を、浴槽に長時間ためておくと、浴槽の変色や排水口の破損、パッキン材を傷める原因になります。
- 窓枠にものを落としたり、引きずったりしないでください
破損や傷の原因となります。
- シャワーフック付き握りバーのシャワーフックの上下移動は必ずグリップレバーを握って行う
無理な力で移動させるとスライド機構の破損の原因になります。
- シャワーヘッドを引っ掛ける際は、シャワーフックにしっかりと掛かったか確認する
シャワーヘッドを落としてけがをするおそれがあります。
- シャワーフック付き握りバーのシャワーフックを鏡にぶつけない
- シャワーフック付き握りバーのシャワーフックの角度調整はゆっくり行う
- シャワーフック付き握りバーに付着したシャンプー・リンス・洗剤などは十分に洗い流してから使用する
付着したまま使用されますと、フックの保持力が弱まるおそれがあります。
- ドアのロックに洗剤が残って付いていた時はふき取る
- ドアのつまみ(ロック)にシャワーをかけない
ロックの故障原因になるおそれがあります。
- シャワーの勢いが強い場合は、吐水量を調整して使用する
シャワーの勢いで角度や向きが変わったり外れたりするおそれがあります。
- ワンストップシャワーの使用後は、必ずシャワー止水ボタンを出の状態にして、水栓金具本体のハンドルで止水する
水栓金具本体のハンドルで止水しないと、器具が破損するおそれがあります。
- 天井点検口が落下するおそれがあるので、清掃の際には点検口を押上げない
- 天井点検口フタ固定具が回転しないように注意する
回転した場合は、点検口フタ固定具を点検口側に向けてください。

- 照明器具のお掃除に洗剤は使用しない
変質、変色、変形のおそれがあります。
- 壁、天井への穴あけ、釘打ちなどは絶対にしない
- 24時間風呂装置は使用しない
浴槽の表面が変色したり、荒れたり、傷む原因になります。
- お湯はりの温度設定は入浴に最適な温度(40℃前後)にする
極端な高温でお湯をはった状態を長く続けると、浴槽表面やパッキン類を傷め、変色や割れ、水漏れの原因になります。
- タオル掛けに1kg以上のものを掛けない
変形や破損の原因になります。
- ランドリーパイプに10kg以上のものを掛け
ない
パイプが外れるおそれがあります。
- お掃除など日常のお手入れで、カウンターまわりの部品は取り外さない
部品が破損するおそれがあります。
- 浴槽の中に洗剤や酸素系漂白剤を入れて風呂フタや風呂いす、衣類のつけ置きをしない
浴槽が変色したり、パッキンを傷めたりする原因となります。
- 風呂フタは必ずシャワーで洗う
浴槽でつけ置き洗いをすると、風呂フタ表面から水が入り込み、水が抜けなくなります。
- 天井に付いた洗剤を洗い流すためのシャワーは、換気扇などの機器に水がかからないようにする
故障の原因となります。
- 換気扇やバステレビなどの電気機器に故意に水をかけない
故障の原因となります。
- 風呂フタ収納フックに物をぶら下げたり、引っ張ったりしない
無理な力を加えるとフック部が外れたり、破損することがあります。
- 風呂フタ収納フック部を引っ掛けたまま風呂フタを取らない
破損することがあります。
- 風呂フタ収納フックに付属のラベルや取扱説明書もあわせて確認する
- コンセントに水をかけない
漏電して使用できなくなります。

- ぬれた手でコンセントをさわらない
感電のおそれがあります。
- 便座、フタの開閉は乱暴に行わない
- 便座、フタを踏台として使用しない
- 便座、フタには塗料、殺虫剤、マニキュアなどを付着させない
- 便座、フタの軸部には油などをささない
- 各棚(1段ごと)に■で表示した以上のものを置かない。特にワイヤーラック(コーナー型)は、平均的にものを置く
置くものの重さが限度を超えたり、かたよって置くことと変形や破損の原因になり、置いているものが落下してけがをするおそれがあります。

●ブレンシェルフ



5kgまで

●ワイドシェルフ



3kgまで

●ワイヤーラック(深型)



3kgまで

●ワイヤーボトルラック



3kgまで

●クリンかるわざシェルフ



3.5kgまで

●化粧棚



2kgまで

●下部点検口フタ収納スペース



2kgまで

●ワイヤーラック(浅型)



3kgまで

●ワイヤーラック(平型)



3kgまで

●ワイヤーラック(コーナー型)



6kgまで

●フロントシェルフ



2kgまで

●コーナーシェルフ



3kgまで

点検とメンテナンス

一般的なバスルームの点検とメンテナンスを記載しています。

定期的なお手入れ、点検、部品の交換をしていただくことで、より長く、安心、快適に商品をご使用いただけます。

※✓印の部品には、コーキング部、目地、パッキン類があります。

年に1回は「お客様ご自身」で点検を
定期点検

換気扇・換気乾燥機類

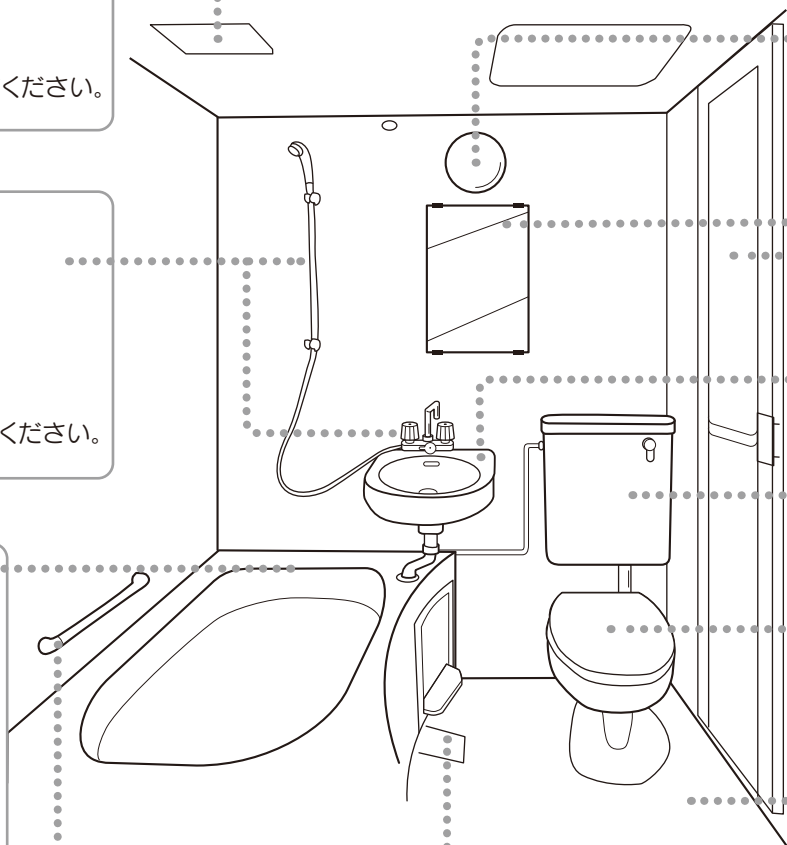
- ☐ カバーのガタツキ・垂れ下がり
(落下によるけがのおそれ)
 - ☐ 焦げ臭い・異音
(モーターの焼き付きによる作動不良)
- ※点検内容は、専用の取扱説明書も確認してください。

水栓・シャワー

- ☐ 水漏れ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)
 - ☐ 温度調節不良
(高温の湯によるやけどのおそれ)
 - ☐ メッキはがれ
(鋭利な小口によるけがのおそれ)
- ※点検内容は、専用の取扱説明書も確認してください。

浴槽 ✓

- ☐ コーキング部の切れ・はがれ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ 表面のひび割れ
(けがのおそれ/浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ 追いだきなどのアダプターのガタツキ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ 追いだき口(アダプター)のカバーがない
(けがややけどのおそれ)
- ☐ ヒートンのガタツキ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ 排水口のゆるみ・ひび割れ・ガタツキ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)



※イラストはイメージ図です。

メンテナンススケジュール
維持・管理の目安に

定期的な部品交換や調整

5年

交換

コーキング部・目地・パッキン類
※対象部品: 上記✓印

●ご使用の環境により5年以内であっても切れが生じる場合が
切れた状態でご使用を継続すると、水漏れの原因になります

換気器具

フィルター※1、その他の部品交換

水栓・シャワー

シャワーホース※1、その他の部品交換

照明器具

電球交換※2

浴槽排水口

ゴム排水栓/ポップアップ排水栓交換

ドア

動きの調整※1

このスケジュールは、部品交換や調整、本体交換時期のおおよその目安としてご活用ください。

なお、製品に不具合が生じた場合は、早めに対応してください。

※1 この項目は、お客様ご自身で交換、調整が可能です。

●部品のご購入はハウステック代引き販売窓口までご連絡ください。(ハウステックオンラインショップでもご注文いただけます)

有償点検のおすすめ

- 長く快適に使っていただくため、ご使用に不具合がなくても、有償ですが点検を受けていただくことをおすすめします。(お使い始めてから2年以降)
- また、以下の場合も有償の点検をおすすめします。
- ・温泉地域や海岸付近などに特に腐食がおきやすい地域でご使用されている場合。

・別荘地・転勤などで、長期間ご使用されない場合。

- 点検については、お買い上げの販売店または保証書に記載のサービス網一覧表の窓口にご相談ください。
- 点検料金は、点検料(技術料) + 出張料 + 部品代(交換した場合)となります。

天井・壁 ✓

- ☐ つなぎ部分の目地材の外れ・切れ
(浴室外への蒸気・水漏れによる家財への影響)

照明

- ☐ カバーがない
- ☐ カバーのひび割れ、ガタツキ、ソケット部の焦げ
(けがのおそれ/火災の原因)

鏡

- ☐ ひび割れ・取付金具のガタツキ
(割れ・落下によるけがのおそれ)

カウンター・洗面器

- ☐ ガタツキ・ひび割れ
(けがのおそれ)
- ☐ カウンター内の水漏れ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)

便器

- ☐ 洗浄時の水漏れ
(床・浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ ひび割れ、欠損
(けがのおそれ/床・浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ 洗浄後のトラップ(水たまり)の水量減少・排水不良
(床・浴室外への水漏れによる家財への影響)

排水トラップ ✓

- ☐ ゆるみ・ひび割れ・ガタツキ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ パッキンの切れ・はがれ
(悪臭の原因)

握りバー

- ☐ ガタツキ
(外れによるけがのおそれ)
- ☐ メッキはがれ
(鋭利な小口によるけがのおそれ)

その他器具

- ☐ ガタツキ・割れ
(けがのおそれ)

ドア ✓

- ☐ ハンドル・引手のガタツキ、ロックの動き不良
(開閉不能による浴室内への閉じ込めのおそれ)
- ☐ 回転軸部品のガタツキ・ひび割れ・外れ
(開閉不能による浴室内への閉じ込め、ドアの外れによるけがのおそれ)
- ☐ パッキンの傷み・切れ・外れ
(脱衣室側への浸水による床材劣化)
- ☐ 面材の割れ・外れ
(けがのおそれ/脱衣室側への水漏れによる家財への影響)
- ☐ ドア開閉時のかたさ・おもさ
(開閉不能による浴室内への閉じ込め、ドアの外れによるけがのおそれ)

タンク

- ☐ ひび割れ・欠損
(けがのおそれ/床・床下への水漏れの原因)
- ☐ 給水管接続部の水漏れ
(床・浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ 給水管の劣化・欠損がある
(床・浴室外への水漏れによる家財への影響)

床 ✓

- ☐ コーキング部の切れ・はがれ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ 洗い場のひび割れ
(けがのおそれ/浴室外への水漏れによる家財への影響)

10年

交換

15~20年

交換

あります。
ので、状況に応じて交換する必要があります。

本体交換	フィルター※1、その他の部品交換
部品交換または、水栓金具本体交換	シャワーホース※1、その他の部品交換
電球交換※2、本体交換	電球交換※2
ゴム排水栓/ポップアップ排水栓交換	ゴム排水栓/ポップアップ排水栓交換
部品交換または、障子交換	動きの調整※1

バスルームのお取り換えをご検討

※2 電球型照明のみ、お客様ご自身で交換が可能です。

● 電球の種類や品番は照明本体に表示されています。

● 指定された品番の電球を見つける事ができない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。

アフターサービスについて

アフターサービスを依頼する前に

- 商品に不具合を感じたときはwebサイトからご覧いただける取扱説明書の「あれ？」と思ったら、一度確認してください。それでも不具合が直らない場合は、自分で修理しないで、お買い上げの販売店または保証書に記載のサービス網一覧表の窓口にご相談ください。
- 電化製品及び水栓は、それぞれの製造元によるサービスで対応いたします。

ご相談の際はお手もとに保証書をご用意ください。

アフターサービスを依頼するときは

- アフターサービスを依頼するときは次のことをお知らせください。

- 【1】商品の「メーカー型式」
- 【2】不具合の状態（できるだけ詳しく）
- 【3】住所・氏名・電話番号

商品の「メーカー型式」はドア上側に貼り付けられています。

バスルーム廃棄についてお願い

- このバスルームを廃棄される場合には、必ず公的な許可を受けている処理業者様にご依頼ください。

バスルームの廃棄部材が不法投棄等されていた場合、廃棄の依頼者が法律違反で罰せられます。

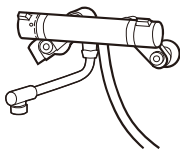
保証と保証期間について

- この取扱説明書には保証書（別紙）が付いています。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づき無料修理いたします。保証期間は、保証書に明記してあります。
- 保証期間中でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をご覧ください。
- 保証期間を過ぎている場合、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有償にて修理をいたします。ただし、補修用性能部品の保有期間を経過していた場合は、修理できない場合があります。
※修理料金：部品代＋技術料＋出張料

こんな部品は定期的に交換です。

ご使用中に不具合を感じたときは、お買い上げの販売店または保証書に記載のサービス網一覧表の窓口にご相談ください。

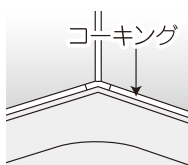
- 水栓本体



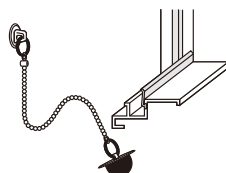
- シャワーホース・ヘッド



- 目地・コーキング



- ゴム栓やパッキン類



- 照明器具



- 照明器具の電球



照明器具の電球はお客様で交換をお願いします。

交換の目安は、パッキンや目地材など消耗部品でご使用開始から3～5年、水栓本体やドア、換気扇、照明器具など器具部品で5～10年です。ただし、お客様のご使用状況により大きく異なります。また、保証期間ではありません。

各種お問い合わせに関して



<https://www.housetec.co.jp/support/>

ハウステックお客様サポート

ハウステック商品のお問合せ

主なお問合せ内容

- 商品の性能や使用方法、お手入れについてのご質問
- ショールームや営業所のご案内
- 商品のトラブル・不具合についての対応



修理受付

- ハウステックの修理のご依頼は24時間・365日受付。
- 浴室・トイレ・調理機器や給湯器などの修理の受付は、年中無休24時間承っております。



長期保証制度

- 追加の保証料をお支払いいただくことにより、メーカー保証期間を最長6年もしくは10年に延長する制度です。



オンラインショップ

- 今お使いの機器の消耗品や、ワンランク上のグレードにする便利な部品を注文することができます。



お客様ご相談窓口のご案内

窓口 全般

- 商品のお問い合わせ・修理のご依頼は、電話混雑時には繋がりにくいので、弊社ホームページ www.housetec.co.jp お客様サポートの「よくあるご質問」「商品のお問い合わせ」「修理のご依頼」のweb画面からのご利用をおすすめいたします。
- 補修部品のご購入は弊社ホームページで案内のショップをご利用下さい。メールでのお問い合わせも受付しております。

お電話でのお問い合わせは下記にて承っています。

商品のお問い合わせは(お客様相談窓口)

個人のお客様

0120-801-761

※携帯電話の場合 **0570-001-761** (有料)

販売・施工など業者様

0570-071-761 (有料)

●受付時間 9:00～17:00(12:00～13:00を除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理のご用命は

個人のお客様

0120-102-471

※携帯電話の場合 **0570-002-471** (有料)

販売・施工など業者様

0570-022-471 (有料)

●受付時間 365日 24時間
(修理訪問は日中、地域により休日あり)

補修部品のご購入は(代引き販売窓口)

個人のお客様

0120-455-621

※携帯電話の場合 **0570-002-621** (有料)

販売・施工など業者様

0570-022-350 (有料)

●受付時間 9:00～17:00(12:00～13:00を除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

株式会社 ハウステック

群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダホールディングス本社11階内 〒370-0841 Tel. (027) 395-0410

www.housetec.co.jp